

きれいな海であそび隊プロジェクト 「海苔のふるさと体験と東京湾の今・昔」について

きれいな海であそび隊プロジェクトは、日本財団のご支援をいただき、親子で海をきれいにして、きれいになった海での体験活動を行なうプログラムです。

日 時：2012年1月15日（日）
場 所：東京都大田区海苔のふるさと館
参加人数：30名
助 成：日本財団
共 催：旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会
後 援：目黒川で泳ぎ隊・なぎさの会・勝島運河倶楽部
協 力：特定非営利活動法人 海苔のふるさと会

今回のきれいな海であそび隊プロジェクトは、「海苔のふるさと体験と東京湾の今・昔」を実施いたしました。これは、海苔づくり発祥の地である大森で海苔付けを体験してもらい、併せて昔は海苔が沢山とれた東京湾の今の姿と昔の姿（写真）を見比べてもらい、昔の生活や環境の変化について考えてもらおうという企画です。

午前10時、大森海苔のふるさと館に集合し、東京湾の海苔造りの歴史の講義を行いました。昔はこの大森周辺で沢山海苔がとれましたが、現在は全くとれません。



その後、いよいよ海苔付け体験です。

なかなか思うように薄く、均等に海苔を漉くのは難しかった様です。

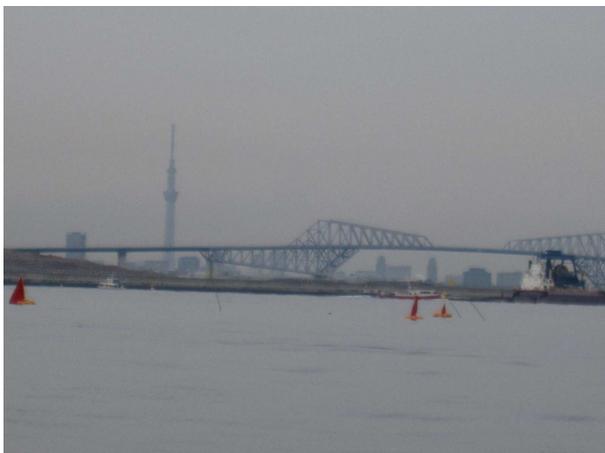


漉いた海苔は天日で乾かします。乾かしている間に昼食をとり、船に乗ります。

ふるさと館前から屋形船に乗り、自分の住む町を海から眺める事にします。
今と昔の東京の姿について解説を受けながらゆっくりと船の旅を楽しみました。



特に東京の新名所、スカイツリーとゲートブリッジの競演には歓声が上がりました。



海上の旅を終え、海苔のふるさと館に戻り、最後の仕上げの剥がしの作業。思いの他難しく、特に生乾きの海苔はうまく剥がれてくれません。それでも最後には何とか自分の漉いた海苔を剥がし、不恰好ながらも見慣れた海苔のシートが完成しました。



今回のイベントには、海苔のふるさと館様に大変お世話になったほか、旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会、目黒川で泳ぎ隊、なぎさの会、勝島運河倶楽部からもご後援、ご協力を頂きました。また、タウンニュース、エフエム横浜ではこのイベントを取り上げていただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

私たち「水と緑の環境ネットワークの会」では、今後も、山、川、海の自然をフィールドにした環境保全活動を計画しています。

皆様のご参加、ご支援の程、どうぞよろしく願いいたします。